

地球温暖化防止の取り組み

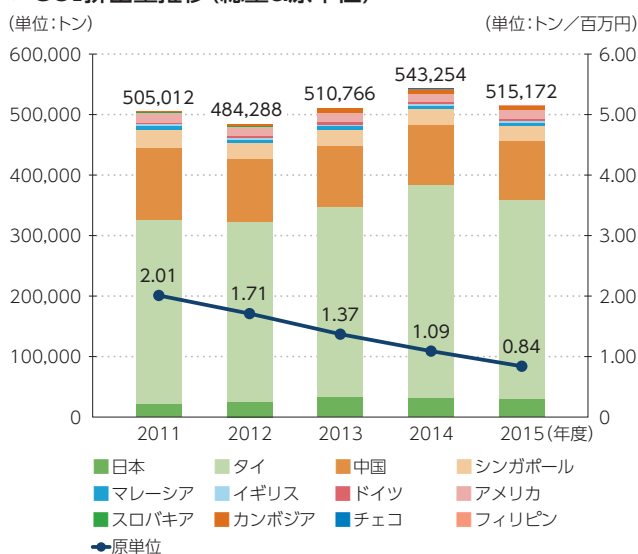
▶ 基本的な考え方

ミネベアグループでは、世界規模での課題となっている地球温暖化問題と、その影響によるエネルギー価格の上昇や異常気象の発生などが、事業活動の継続にも大きな影響を与えていると考えています。

当社グループでは、地球温暖化防止に取り組むため、各事業所で積極的に省エネルギー対策を進めてきており、それぞれの代表的な対策を終えています。

▶ 2015年度の取り組み結果

2015年度のミネベアグループ全体のCO₂排出量は515,172トンで、2014年度と比較して5%減少しました。一方、生産高原単位によりCO₂排出量をとらえた場合は、0.84トン/百万円で、2014年度より23%減少しました。この要因は、事業の好調に伴いエネルギー効率の高い生産が行われたことと、世界各工場でCO₂排出量を削減できた結果です。

▶ CO₂排出量推移(総量&原単位)

▶ オフィスにおける取り組み

東京本部ビルの省エネ対策(日本)

東京本部は2013年1月に都内に新たに購入した自社ビルに移転し、同年10月より本格的にISO14001環境マネジメント活動を開始しました。

2015年度は空調運転の条件見直しや、照明の消灯・減灯、また全従業員に対してクールビズの呼びかけを行うなど、ハード・ソフト両面から省エネルギーに取り組み、ビル全体での電力使用量を2013年度比(基準年度比)で8.4%削減できました。空調における電力使用量を削減した分、夏季

に冷房に使用する冷温水発生機の都市ガス量が若干増えましたが、両エネルギーを合算した2015年度のCO₂排出量を2013年度比で4.3%削減することができました。

また、環境省が毎年夏至の日と七夕の日に全国のライトアップ施設や企業、家庭に照明の消灯を呼びかける「ライトダウンキャンペーン」に協賛し、2015年6月22日と7月7日の夜8時から10時までの2時間、東京本部ビルのライトアップ照明を消灯し、6kwの電力を削減しました。

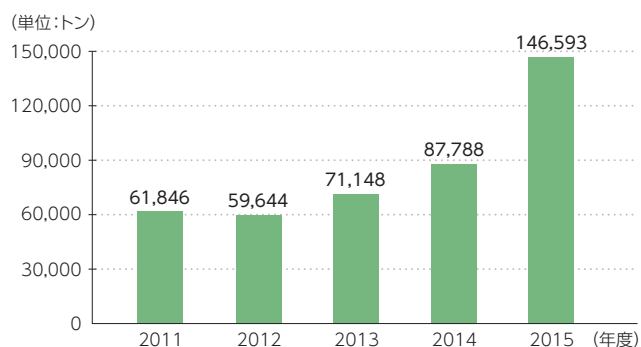
▶ 物流部門の取り組み

物流のCO₂排出量

ミネベアグループは自社の直接のCO₂排出であるスコープ1(ガス、石油)、スコープ2(電気、蒸気、熱)のCO₂排出量に加え、スコープ3(その他)となる物流(製品輸送)のCO₂排出量の把握に取り組んでいます。

2015年度の当社グループの製品輸送によるCO₂排出量は146,593トンで、2014年度と比較して67%増加しました。

物流部門では製品の出荷輸送に際して、CO₂排出量の少ない鉄道輸送や船舶輸送を可能な限り利用するよう努めています。

▶ 物流のCO₂排出量

▶ 今後の課題・目標

ミネベアグループでは、今後も引き続き地球温暖化防止に向けて取り組みを進めていきます。

2020年、2030年といった将来の長期的な展望としては、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書やCOP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)で採択された「パリ協定」、各国から提出された約束草案などを注視し、対策を進めていきます。